

# 提 言 書

令和5年11月

鞍手町公共下水道事業計画検討委員会

## 目 次

1. 下水道事業の現状 .....	1
2. 下水道事業の課題 .....	1
3. 委員会としての提言 .....	2
4. 下水道計画区域図 .....	3
5. 参考資料 .....	4

## 1. 下水道事業の現状

鞍手町は、「遠賀川下流流域下水道」の流域関連公共下水道事業として、平成 8 年に本町中心街である既成市街地の 118ha の認可を受け、直近の令和 2 年度には、約 460ha まで事業計画区域の拡大を行い、整備を進めてきた。

令和 3 年度末時点での面整備は 308ha まで進捗しているが、全体計画面積 813ha に対して、未整備区域が 505ha と膨大に残っている。また、下水道処理人口普及率は 52.2% となっており、全国平均 80.6% を大きく下回っている状況である。

国の方針としては、「令和 8 年度までに汚水処理人口普及率 95% 以上」と設定されているが、この目標値を達成するためには、年当たりの事業費や事業量の大幅な増加が必要となる。しかし、町の財政状況や人員規模から考えても事業費や事業量の増加は、困難である。

このような厳しい財政状況の中、将来にわたり安定した下水道事業を継続させるためには、現況や課題等を十分に踏まえ、財源の確保と効果的で効率的な事業経営を図る必要がある。

## 2. 下水道事業の課題

### (1) 整備費用がかかる

本町の公共下水道事業は、公共下水道を利用している人口の割合、つまり、下水道処理人口普及率が全国平均値である 80.6% よりも低い 52.2% にとどまっている。今後、この数値を向上させるために、未整備区域（505ha）に対して、下水道整備を行う必要があり、その為には、約 125 億円もの費用が必要である。

### (2) 整備が完了するまでに時間がかかる

現在、未整備区域が 505ha 残っており、限られた資金を活用して計画的な下水道整備を行っている。ただし、現在の整備進捗は、約 10ha/年であるため、このペースで進むと、整備が完了するまでに約 50 年かかる見込みである。

### (3) 人口減少により使用料収入が減少する

「国立社会保障・人口問題研究所」によると、本町の将来行政人口は、令和 2 年から令和 27 年までの 25 年間で約 41% 減少（約 6,000 人減少）すると推計されており、人口減少に伴う使用料収入の減少が懸念される。

以上の課題を踏まえ、今後も持続可能な汚水処理を行っていくためには、合併浄化槽による個別処理への転換も視野に入れた下水道区域の見直しが必要である。

### 3. 委員会としての提言

公共下水道区域の見直しについて、本委員会として以下の提言を行う。

#### 提言 1 公共下水道区域の見直し

将来の人口減少社会に対応し、持続可能な下水道運営を確保するためには、現在の下水道整備状況を見直す必要があり、経済性による判定と下水道以外の計画等の確認の結果、次頁に示すとおり、公共下水道区域を 558ha へ縮小することは避けられないとの判断に至った。

ただし、今後も公共下水道による整備の方が優位であると判断された区域については、早急に下水道整備を進め、持続可能な運営を実現するための努力を強化していただきたい。

#### 提言 2 公共下水道区域の縮小見直しに伴う合併浄化槽への転換促進について

早期の汚水処理施設の概成に向けて、公共下水道から合併浄化槽への転換が必要な地域については、住民の理解が不可欠である。特に、対象地域の住民に対しては、細心の注意を払った対応を行い、合併浄化槽への転換の必要性を説明し、理解を得る努力が求められる。また、合併浄化槽の適切な維持管理の重要性についても、啓発活動や広報活動を通じて、地域住民に十分に伝え、共感を呼び起こす取り組みを強化していただきたい。

#### 提言 3 合併浄化槽の初期費用にかかる軽減策

公共下水道区域の縮小見直しに伴い、公共下水道から合併浄化槽への転換が必要な地域においては、経済的負担による不公平感を軽減させるため、合併浄化槽の設置費用（し尿汲み取りや単独浄化槽からの転換を含む）に対する補助金の見直しを要望する。

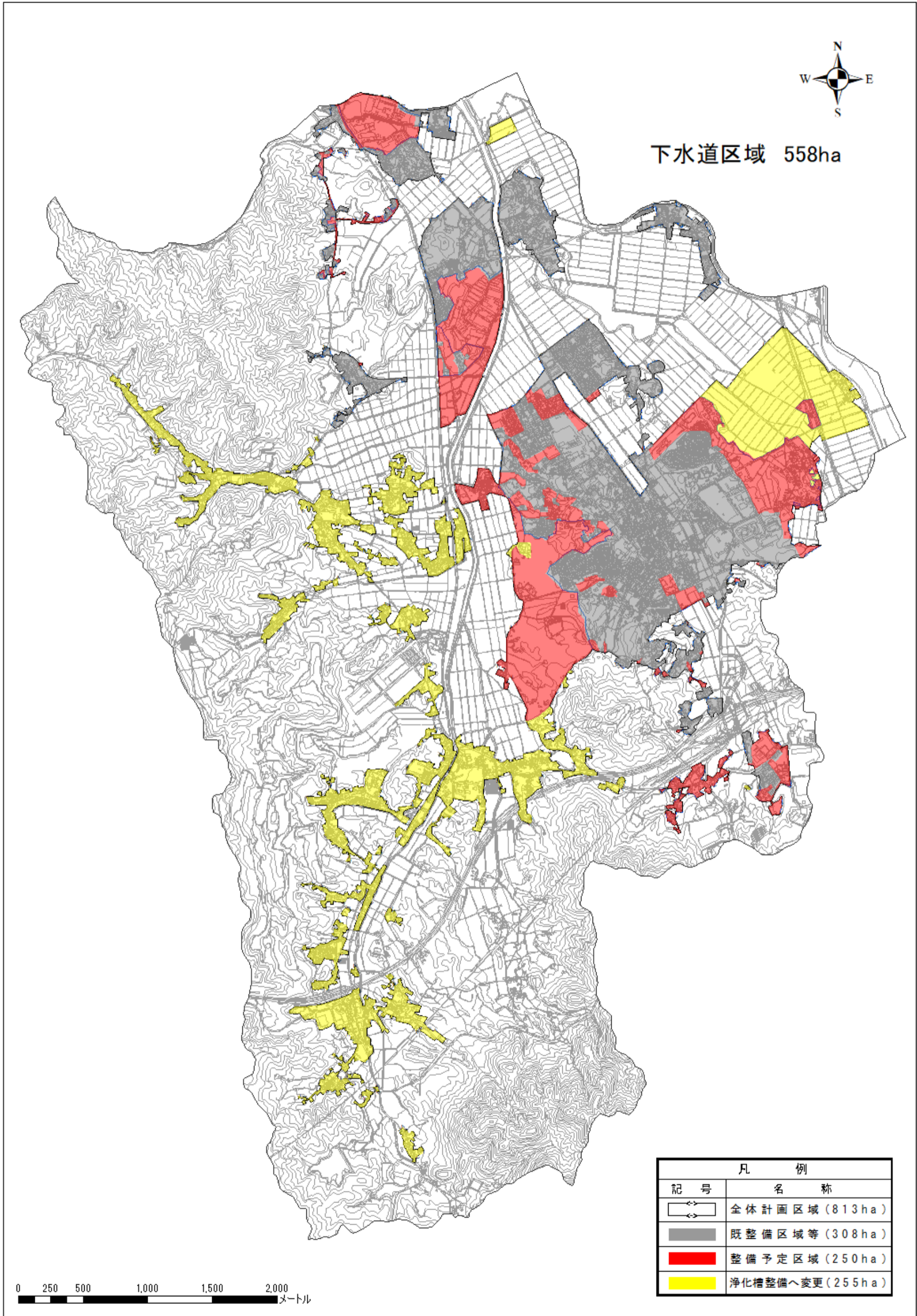
今後の、汚水処理施設整備の早期概成に向け、財源の確保やコスト縮減等、より効率的かつ効果的な整備が求められる。

本委員会の提言を参考にして、十分な検討を行った上で、関係者との合意形成を図り、下水道事業を前進させていただきたい。

鞍手町公共下水道事業計画検討委員会

委員長 山崎 惟義

4. 下水道計画区域図



## 5. 参考資料

### 鞍手町公共下水道事業計画検討委員会委員名簿（順不同・敬称略）

項目	氏名	所属団体・役職等	
1	やまさき 山崎	これよし 惟義	学識経験者 福岡大学 名誉教授
2	かわさき 川崎	ともひろ 智寛	(株)川崎会計 代表取締役
3	このみ 許斐	ひでゆき 英幸	鞍手町町議会 副議長
4	たかなべ 高鍋	ゆきお 幸雄	鞍手町区長会 会長
5	くぼ 久保	ともりの 智則	鞍手町区長会 副会長
6	こながみつ 小長光	たかし 隆	鞍手町農業委員会 会長
7	かじわら 梶原	みのる 實	鞍手町地域開発協力会 理事長
8	あさの 浅野	あや 彩	鞍手町 副町長

### 令和5年度 鞍手町公共下水道事業計画検討委員会開催スケジュール

時期	スケジュール
令和5年6月29日	・第1回 鞍手町公共下水道事業計画検討委員会 (諮問、趣旨説明、事業説明)
令和5年8月29日	・第2回 鞍手町公共下水道事業計画検討委員会 (検討手法の説明、経済性に基づいた下水道区域の検討 結果について説明)
令和5年10月27日	・第3回 鞍手町公共下水道事業計画検討委員会 (下水道区域の見直し結果について説明)
令和5年11月22日	・第4回 鞍手町公共下水道事業計画検討委員会 (提言書の提出)